

【表紙】

| | |
|------------|----------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 東海財務局長 |
| 【提出日】 | 平成25年8月8日 |
| 【四半期会計期間】 | 第21期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日） |
| 【会社名】 | 株式会社日本一ソフトウェア |
| 【英訳名】 | Nippon Ichi Software, Inc. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役会長 北角 浩一 |
| 【本店の所在の場所】 | 岐阜県各務原市蘇原月丘町3丁目17番 |
| 【電話番号】 | 058 - 371 - 7275（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理部長 世古 哲久 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 岐阜県各務原市蘇原月丘町3丁目17番 |
| 【電話番号】 | 058 - 371 - 7275（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理部長 世古 哲久 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第20期 第1四半期連結 累計期間 | 第21期 第1四半期連結 累計期間 | 第20期 |
|---|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日 | 自平成25年 4月1日 至平成25年 6月30日 | 自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日 |
| 売上高(千円) | 553,122 | 550,675 | 2,530,553 |
| 経常利益又は経常損失() (千円) | 1,691 | 29,705 | 168,382 |
| 四半期純利益又は四半期(当期)純 損失() (千円) | 30,298 | 27,274 | 215,370 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 47,869 | 48,373 | 164,720 |
| 純資産額(千円) | 1,136,358 | 1,064,910 | 1,020,885 |
| 総資産額(千円) | 2,085,179 | 2,233,090 | 2,570,604 |
| 1株当たり四半期純利益金額又は1 株当たり四半期(当期)純損失金額 () (円) | 7.17 | 6.42 | 50.88 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円) | | 6.34 | |
| 自己資本比率(%) | 54.5 | 47.7 | 39.7 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第20期第1四半期及び第20期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期(当期)純損失であるため記載しておりません。

4. 平成25年4月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行いました。第20期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純損失金額()を算定しております。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の堅調な経済成長や円安による輸出環境の改善により景気回復の兆しが見られました。

当社グループが属するゲーム業界におきまして、当年6月に米国で開催されましたE3（Electronic Entertainment Expo）にて、「PlayStation4」や「Xbox One」等の新ハードウェアや新作ゲームタイトルの発表が行われ、市場への期待が高まりました。しかしながら、コンシューマーゲーム業界におきましては、市場の拡大に貢献する要因が少なく、ハードウェア・ソフトウェア事業ともに、昨年度に比べて減少傾向となりました。モバイル業界におきましては、スマートフォンアプリの販売を行う「Google Play」及び「App Store」の売上が増加するなど、市場の拡大が進んでおります。

このような状況の中で、当社グループのパッケージ事業におきましては、20周年記念タイトルを含む4タイトルを発売いたしました。また、20周年記念イベントのプロモーション活動を行い、当社ブランド及び当社タイトル認知度の更なる向上に努めてまいりました。オンライン事業におきましては、Android OS搭載のスマートフォン端末に向けたゲームアプリの配信を行いました。また、PlayStation Storeにてダウンロードソフトの値下げキャンペーン及びPlayStation3用カスタムテーマの配信等を行いました。ライセンス事業におきましては、他社とコラボレーションしたソーシャルゲームの配信を行いました。その他事業におきましては、ゲームソフトの受託開発及びカードゲームショップである「プリニークラブ」の運営を行いました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高550,675千円（前年同期比0.4%減）、営業利益17,990千円（前年同期比93.6%増）、経常利益29,705千円（前年同期比1,656.2%増）、四半期純利益27,274千円（前年同四半期は30,298千円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

（パッケージ事業）

パッケージ事業におきましては、国内外あわせて全4タイトルの発売を行いました。

国内市場では『魔界戦記ディスガイア3 Return PlayStation Vita the Best』（PlayStation Vita専用ゲームソフト）、『Z/X 絶界の聖戦』（PlayStation3専用ゲームソフト）の2タイトルを発売いたしました。

海外市場では『Black Rock Shooter The Game』（邦題：『ブラック ロックシューター THE GAME』、PlayStation Portable専用ゲームソフト）、『Time and Eternity』（邦題：『時と永遠～トキトワ～』、PlayStation3専用ゲームソフト）の2タイトルを発売いたしました。

グッズの製作・販売におきましては、新規グッズ『ディスガイア D2』カンパッチの製作や、当社通信販売サイトにて「日本一ソフトウェア 夏のスペシャルパック」の販売等を行いました。また、20周年記念イベントに向けたプロモーション活動と共に、顧客満足度の向上と新規顧客の獲得に向けて「アサギ 全国巡業イベントin神戸」をはじめとしたイベントを行ってまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高335,402千円、営業損失36,971千円となりました。

（オンライン事業）

オンライン事業におきましては、前期よりGREE及びヤマダゲームにて配信をいたしております『ディスガイア魔界コレクション』を、当年5月よりMobageで配信を開始いたしました。また、Android OS搭載のスマートフォン端末に向けたゲームアプリ『ディスガイア レギオンバトル』の配信を当年4月より開始いたしました。さらに、PlayStation Storeにて『ディスガイア D2』の追加ダウンロードコンテンツの配信及びダウンロード専用ゲームソフトの値下げキャンペーンを行いました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高155,728千円、営業利益79,694千円となりました。

（ライセンス事業）

ライセンス事業におきましては、株式会社ドリコムとの共同事業として制作を行いましたGREE及びmixi向けソーシャルゲーム『ピックリマン』の配信をしまいにりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高26,024千円、営業利益22,463千円となりました。

(その他事業)

その他事業におきましては、株式会社プロコリーから発売が予定されております『神々の悪戯(あそび)』(PlayStation Portable専用ゲーム)の受託開発を行いました。また、当社のグッズやトレーディングカードを扱う「プリニークラブ」の運営におきまして、新規入会キャンペーン等の新規顧客獲得に努めました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高33,520千円、営業利益15,761千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は2,233,090千円となり、前連結会計年度末に比べ337,513千円の減少となりました。

主な流動資産の増減は、受取手形及び売掛金の減少(前連結会計年度末に比べ491,281千円の減少)、商品及び製品の増加(前連結会計年度末に比べ248,598千円の増加)等によるものであります。

主な固定資産の増減は、投資有価証券の増加(前連結会計年度末に比べ52,881千円の増加)等によるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債は1,168,180千円となり、前連結会計年度末に比べ381,538千円の減少となりました。

主な流動負債の増減は、短期借入金の減少(前連結会計年度末に比べ275,000千円の減少)、買掛金の減少(前連結会計年度末に比べ86,270千円の減少)等によるものであります。

主な固定負債の増減は、長期借入金の減少(前連結会計年度末に比べ11,576千円の減少)等によるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,064,910千円となり、前連結会計年度末に比べ44,024千円の増加となりました。

主な純資産の増減は、為替換算調整勘定の増加(前連結会計年度末に比べ22,258千円の増加)、利益剰余金の増加(前連結会計年度末に比べ22,601千円の増加)等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 13,600,000 |
| 計 | 13,600,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年6月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成25年8月8日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|------------------------------------|----------------------------|------------------------------------|---------------|
| 普通株式 | 4,303,200 | 4,303,200 | 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 単元株式数 100株 |
| 計 | 4,303,200 | 4,303,200 | - | - |

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成25年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総数 増減数(株) | 発行済株式総数 残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額(千円) | 資本準備金 残高(千円) |
|----------------------------------|-------------------|------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 平成25年4月1日 (注)1 | 4,277,704 | 4,299,200 | | 246,180 | | 236,180 |
| 平成25年4月1日～ 平成25年6月30日 (注)2 | 4,000 | 4,303,200 | 162 | 246,342 | 162 | 236,342 |

(注)1. 株式分割(1:200)によるものであります。

2. 新株予約権の行使による増加であります。

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|----------------------|----------|---------------------------|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 290 | | 権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式 |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 21,226 | 21,226 | 同上 |
| 単元未満株式 | | | |
| 発行済株式総数 | 21,516 | | |
| 総株主の議決権 | | 21,226 | |

- (注) 1. 当社は平成25年3月15日開催の取締役会に基づき、平成25年4月1日付で単元株制度(100株)を採用いたしました。
2. 当社は平成25年3月15日開催の取締役会に基づき、平成25年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|-------------------|------------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| 株式会社 日本一ソフトウェア | 岐阜県各務原市蘇原月丘 町3丁目17番 | 290 | | 290 | 1.35 |
| 計 | | 290 | | 290 | 1.35 |

- (注) 当社は平成25年3月15日開催の取締役会に基づき、平成25年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 627,256 | 553,987 |
| 受取手形及び売掛金 | 690,538 | 199,256 |
| 商品及び製品 | 48,265 | 296,864 |
| 仕掛品 | 215,971 | 66,853 |
| 繰延税金資産 | 4,142 | 4,342 |
| その他 | 167,529 | 240,699 |
| 貸倒引当金 | 1,700 | 1,700 |
| 流動資産合計 | 1,752,003 | 1,360,303 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 343,004 | 338,917 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 4,583 | 8,691 |
| 土地 | 212,687 | 212,687 |
| その他(純額) | 31,730 | 34,409 |
| 有形固定資産合計 | 592,006 | 594,705 |
| 無形固定資産 | 11,307 | 10,733 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 185,593 | 238,474 |
| その他 | 29,693 | 28,873 |
| 投資その他の資産合計 | 215,286 | 267,348 |
| 固定資産合計 | 818,600 | 872,787 |
| 資産合計 | 2,570,604 | 2,233,090 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 204,739 | 118,469 |
| 短期借入金 | 900,000 | 625,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 46,872 | 46,730 |
| 未払金 | 98,650 | 79,985 |
| 未払法人税等 | 9,103 | 9,470 |
| 賞与引当金 | 27,987 | 24,181 |
| 売上値引引当金 | 49,550 | 48,361 |
| その他 | 51,327 | 66,864 |
| 流動負債合計 | 1,388,230 | 1,019,062 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 143,438 | 131,862 |
| 退職給付引当金 | 14,227 | 15,197 |
| その他 | 3,822 | 2,058 |
| 固定負債合計 | 161,488 | 149,118 |
| 負債合計 | 1,549,718 | 1,168,180 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 246,180 | 246,342 |
| 資本剰余金 | 236,180 | 236,342 |
| 利益剰余金 | 586,001 | 608,602 |
| 自己株式 | 16,870 | 16,870 |
| 株主資本合計 | 1,051,490 | 1,074,416 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,302 | 3,142 |
| 為替換算調整勘定 | 34,907 | 12,648 |
| その他の包括利益累計額合計 | 30,604 | 9,506 |
| 純資産合計 | 1,020,885 | 1,064,910 |
| 負債純資産合計 | 2,570,604 | 2,233,090 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第 1 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日) | 当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日) |
|--------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 553,122 | 550,675 |
| 売上原価 | 288,532 | 281,635 |
| 売上総利益 | 264,589 | 269,040 |
| 販売費及び一般管理費 | 255,296 | 251,050 |
| 営業利益 | 9,293 | 17,990 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 201 | 522 |
| 受取配当金 | 502 | 166 |
| 為替差益 | - | 10,233 |
| その他 | 450 | 2,549 |
| 営業外収益合計 | 1,155 | 13,471 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,184 | 1,725 |
| 為替差損 | 7,572 | - |
| その他 | - | 31 |
| 営業外費用合計 | 8,757 | 1,756 |
| 経常利益 | 1,691 | 29,705 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | - | 1,064 |
| 特別利益合計 | - | 1,064 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,691 | 30,769 |
| 法人税等 | 31,989 | 3,494 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 () | 30,298 | 27,274 |
| 四半期純利益又は四半期純損失 () | 30,298 | 27,274 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失() | 30,298 | 27,274 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,436 | 1,159 |
| 為替換算調整勘定 | 16,135 | 22,258 |
| その他の包括利益合計 | 17,571 | 21,098 |
| 四半期包括利益 | 47,869 | 48,373 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 47,869 | 48,373 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | - | - |

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

(税金費用の計算)

税金費用については、海外連結子会社に関して、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日) | 当第1半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日) |
|-------|---|--|
| 減価償却費 | 10,905千円 | 10,391千円 |

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成24年6月21日 定時株主総会 | 普通株式 | 4,217 | 200 | 平成24年3月31日 | 平成24年6月22日 | 利益剰余金 |

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成25年6月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 4,241 | 200 | 平成25年3月31日 | 平成25年6月28日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-------------------------|-------------|-------------|-------------|--------|---------|-------------|-------------------------------|
| | パッケージ 事業 | オンライン 事業 | ライセンス 事業 | その他事業 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 425,435 | 72,020 | 27,921 | 27,745 | 553,122 | - | 553,122 |
| セグメント間の内部売上高又は 振替高 | - | - | - | - | - | - | - |
| 計 | 425,435 | 72,020 | 27,921 | 27,745 | 553,122 | - | 553,122 |
| セグメント利益又はセグメント損 失() | 4,221 | 40,227 | 20,565 | 4,226 | 69,241 | (59,947) | 9,293 |

(注)1. セグメント利益又はセグメント損失()の調整額59,947千円は当社管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|---------------------------|-------------|-------------|-------------|--------|---------|-------------|-------------------------------|
| | パッケージ 事業 | オンライン 事業 | ライセンス 事業 | その他事業 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 335,402 | 155,728 | 26,024 | 33,520 | 550,675 | - | 550,675 |
| セグメント間の内部売上高又は 振替高 | - | - | - | - | - | - | - |
| 計 | 335,402 | 155,728 | 26,024 | 33,520 | 550,675 | - | 550,675 |
| セグメント利益又は又はセグメン ト損失() | 36,971 | 79,694 | 22,463 | 15,761 | 80,946 | (62,956) | 17,990 |

(注)1. セグメント利益又はセグメント損失()の調整額62,956千円は当社管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) |
|---|---|---|
| (1) 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額() | 7円17銭 | 6円42銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円) | 30,298 | 27,274 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | | |
| 普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円) | 30,298 | 27,274 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 4,226,200 | 4,243,925 |
| (2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 | | 6円34銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益調整金額 | | |
| 普通株式増加数(株) | | 56,239 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要 | | |

- (注) 1. 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。
2. 平成25年4月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行いました。第20期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純損失金額()を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月8日

株式会社日本一ソフトウェア
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山田 順 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 川口 真樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社日本一ソフトウェアの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査法人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社日本一ソフトウェア及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。